

平成27年度事業報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

法人の名称 特定非営利活動法人
チャイルドファーストジャパン
名称変更前 特定非営利活動法人子ども虐待
ネグレクト防止ネットワーク

1 事業の成果

特定非営利活動に係る事業については、原則として、昨年度の事業内容を継続した。従って、主たる事業は、ケースワーク事業、オンブズパーソン活動、研究・研修事業、啓発事業となる。

ケースワーク事業のうち、昨年度（平成27年2月7日）に開所した『子どもの権利擁護センターかながわ』で実施する子どもの権利擁護センター事業を、今年度からは当法人の中心事業の一つに位置づけた。

啓発事業のうち、乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)予防教育事業は、昨年度に引き続き、当法人が全国で事業を実施している医療機関の事業継続を支援するとともに、SBS 予防教育実施医療機関のさらなる増加に努めた。

昨年度に引き続き、ChildFirst Japan ファカルティによる RIFCR™ 研修を継続する。ChildFirst™ が採用プロトコルを RATAc® プロトコルから ChildFirst™ 司法面接プロトコルに変更したことを受けて、ChildFirst Japan は ChildFirst™ 司法面接プロトコルを用いた司法面接研修を提供していくが、今年度は経過措置として、RATAc® 司法面接研修修了者向けにプロトコル移行研修も実施した。

ただし、これらの研修事業は、特定非営利活動に係る事業会計と切り離し、ChildFirst Japan 特別会計で管理した。なお、この ChildFirst Japan 特別会計は、特定非営利活動に係る事業と収益事業とに分け、当法人が会場を準備し、受講者を募集して実施するセンター型 ChildFirst™ 司法面接研修とセンター型 RIFCR™ 研修を特定非営利活動に係る事業とし、自治体等の団体・組織から招聘され、委託事業として実施する出前型 ChildFirst™ 司法面接研修と出前型 RIFCR™ 研修を収益事業とした。

これによって、収益事業を、一般会計収益事業と ChildFirst Japan 特別会計収益事業の二つに分けることとした。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 子ども虐待・ネグレクトのケースワーク事業

ア ケースワーク事業

- ・内 容 児童相談所・各市町村等が開催する個別ケース検討会議等に、要請に応じて出席し、事例の重症度判定およびケースワーク方針等について助言・協力した。
- ・日 時 平成27年12月11日（金）
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・従事者人員 各回1～3人

- ・対象者 当該事例に関わっている支援者および当法人、計12人
- ・支出総額 0円

イ 子どもの権利擁護センター事業

- ・内容 平成27年2月7日に、当法人の事務所の1階に開所した『子どもの権利擁護センター(CAC)かながわ』を子どものためのワン・ストップ・センターとして機能させ、虐待・ネグレクトなどの人権侵害を受けたと疑われる子どもたちや犯罪被害に遭った子どもたち、犯罪を目撃した子どもたち等に対して、多機関連携チーム(MDT: Multidisciplinary Team)の枠組みで司法面接と系統的全身診察を実施した。
- ・日時 平成27年 4月22日(水)午後
平成27年 5月20日(水)午後
平成27年 5月27日(水)午後
平成27年 6月 3日(水)午後
平成27年 6月17日(水)午後
平成27年 7月 8日(水)午後
平成27年 9月 9日(水)午後
平成27年10月28日(水)午後
平成27年12月16日(水)午後
平成28年 1月13日(水)午後
平成28年 2月10日(水)午後
平成28年 3月 9日(水)午後
平成28年 3月23日(水)午後
計13日
- ・場所 この法人の事務所の1階に設置された『子どもの権利擁護センターかながわ』
- ・従事者人員 各回4～6人
- ・対象者 虐待・ネグレクトの疑われる子ども、1日に1人ずつ
- ・支出総額 3,919,945円

②子ども虐待・ネグレクトを扱う行政機関に対するオンブズパーソン活動

ア 苦情相談

- ・内容 電話もしくは事務局窓口にて、行政機関利用者からの虐待・ネグレクトの処遇に関する苦情を受理し、相談に応じ、必要があれば行政への提言を行った。
- ・日時 通年、週2回(月・水曜日) 午前10時～午後4時
- ・場所 この法人の事務所
- ・従事者人員 各回2人
- ・対象者 虐待・ネグレクトに関して行政機関を利用した者
- ・支出総額 0円

③研究・研修事業

ア 研修会

- ・内 容 虐待・ネグレクトの専門家を対象とした研修会の開催
- ・日 時 平成27年 5月24日(日) (講師; CMPN 理事長 山田 不二子)
平成27年 7月18日(土) (講師; 子どもセンターてんぼ事務局長
高橋 温氏)
平成27年10月17日(土) (講師; CFJ 理事長 山田 不二子)
平成28年 3月 5日(土) (講師; 東京都立小児総合医療センター
心理福祉科医長 菊地 祐子氏)
計4回
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室、神奈川県総合医療会館
- ・従事者人員 約10人
- ・対 象 者 子ども虐待・ネグレクトの専門家
- ・参 加 者 各回 13~38人 (延べ81人)
- ・支 出 総 額 94,645円

イ 電話相談員等ボランティア養成事業

- ・内 容 「虐待相談かながわ」の電話相談員等、子ども虐待・ネグレクトの防止活動
ボランティアを養成するための講座の開設
- ・日 時 平成27年4月~7月
基礎講座 2時間30分×4回 (4月21日、28日、5月12日、19日)
講師; 理事長 山田 不二子
実践講座 3時間×3回 (5月27日、6月3日、10日)
指導者; この法人の電話相談員6人
応用講座 2時間30分×4回 (6月16日、30日、7月7日、21日)
講師; 理事長 山田 不二子
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・従事者人員 1~10人
- ・対 象 者 一般市民の中で電話相談員等子ども虐待防止ボランティア活動を志望する者
- ・参 加 者 基礎講座16人、実践講座5人、応用講座5人
- ・支 出 総 額 54,960円

ウ 「CAC かながわ」 ケース・カンファレンス

- ・内 容 「子どもの権利擁護センター(CAC)かながわ」で実施した司法面接の録画ビ
デオを使ってピア・レビューを実施し、司法面接者の技術向上を目指した。
- ・日 時 月1回 原則として第三水曜日午後6時~9時
平成27年5月20日(水)、6月17日(水)、7月15日(水)、8月19日
(水)、9月16日(水)、11月18日(水)、平成28年1月20日(水)、2
月17日(水)、計8回
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・従業者人員 4~6人
このうち、理事長 山田 不二子はスーパーバイザー
- ・対 象 者 この法人の「子どもの権利擁護センターかながわ」スタッフと電話相談員

・支出総額 0円

エ ChildFirst Japan センター型 RIFCR™ 研修

- ・内 容 通告義務者向けの聞き取り研修
- ・日 時 平成27年9月12日(土)、10月3日(土)、12月12日(土)、
平成28年2月20日(土)、3月12日(土)
- ・場 所 神奈川総合医療会館
- ・講 師 ChildFirst Japan RIFCR ファカルティー 各回3~4人
- ・対 象 者 小・中・高校の養護教諭や幼稚園教諭・保育士など、子どもの性虐待を発見し
しやすい職種に従事する者、各回定員40人
- ・従業者人員 6~7人(このうち、3~4人はRIFCR ファカルティー)
- ・参加者 各回37~39人(延べ189人)
- ・支出総額 557,238円

オ ChildFirst Japan センター型 ChildFirst™ 司法面接研修

- ・内 容 多機関連携チーム(MDT)の枠組みで実施する司法面接(調査・捜査のための
聞き取り)の研修。研修プロトコルは、GNCPTC (Gundersen National Child
Protection Training Center)が開発したChildFirst™ 司法面接プロトコル。
- ・日 時 第1回;平成27年7月1日(水)~5日(日)
第2回;平成28年1月27日(水)~31日(日)
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
および1階 面接室と観察室
- ・講 師 ChildFirst Japan 司法面接研修ファカルティー(子どもの司法面接 NCPTC 認
定トレーナー)7人
- ・対 象 者 全国の児童相談所職員、警察官、検察官、家庭裁判所調査官、弁護士、医師
・看護師等医療職などの多職種専門家、各回定員20人
- ・従業者人員 8~10人(このうち、7人はChildFirst Japan 司法面接研修ファカルティー)
- ・参加者 各回20人(延べ40人)
- ・支出総額 2,311,704円

カ ChildFirst Japan センター型 ChildFirst™ 司法面接プロトコル移行研修

- ・内 容 RATA[®]司法面接研修修了者がChildFirst™ 司法面接プロトコルを使えるよう
になるためのプロトコル移行研修
- ・日 時 第1回;平成27年4月25日(土)・26日(日)
第2回;平成27年6月10日(水)・12日(金)
第3回;平成27年9月26日(土)・27日(日)
- ・場 所 神奈川県総合医療会館、横浜中央児童相談所、川崎市子ども家庭センター
- ・講 師 ChildFirst Japan 司法面接研修ファカルティー 1日目3人、2日目4人
- ・対 象 者 RATA[®]司法面接5日間研修受講修了者、各回定員40人
- ・従業者人員 8~10人(このうち、7人はChildFirst Japan 司法面接研修ファカルティー)
- ・参加者 各回21~23人(延べ66人)

・支出総額 426,804円

キ 虐待被害児診察技術研修

- ・内容 多機関連携チーム(MDT)を構成する医療者、児童相談所職員、警察官、検察官、子どもの権利擁護センター(CAC)職員等を対象として、MDTのあり方を研修するとともに、虐待被害児の病態理解と診察技術の習得を目指した。
- ・日時 平成27年5月9日(土)、7月11日(土)、9月5日(土)、11月7日(土)、平成28年2月6日(土)
- ・場所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室および1階 診察室
- ・講師 理事長 山田 不二子
- ・対象者 午前中のみ参加；子ども虐待に関わる全ての専門職種、各回定員14人
1日参加；医師、助産師、看護師等医療者およびMDTコア・メンバーとなる職種(児童福祉司、警察官、検察官、CAC職員)、各回定員10人
- ・従業者人員 3～5人(このうち、1人は理事長 山田 不二子)
- ・参加者 各回 8～12人(延べ52人)
- ・支出総額 671,953円

④啓発事業

ア 学術集会

- ・内容 第18回子ども虐待防止シンポジウム 学術集会
特定非営利活動法人かながわ子ども虐待ネグレクト専門家協会との二者共催で「多機関連携チーム『子ども虐待事例対応における児童相談所・捜査機関(警察・検察)・弁護士・医師の役割』」をテーマとして、子ども虐待初期対応における多機関連携チーム(MDT)の重要性を研修した。特定非営利活動法人かながわ子ども虐待ネグレクト専門家協会と共に「第18回子ども虐待防止シンポジウム事業体」を組織し、両法人正会員の中から実行委員を選出して企画運営を行った。経理は「平成27年度子ども虐待防止シンポジウム事業特別会計」で管理した。
- ・日時 平成28年1月16日(土)
- ・場所 横浜市社会福祉センター 4階 ホール(横浜市中区桜木町1-1)
- ・海外招聘講師 米国オレゴン州 マルトノマー郡 地方検事：John Casalino 氏
- ・日本人講師 社会医療法人愛仁会高槻病院 副院長：山崎 麻美氏
福岡市児童相談所長：藤林 武史氏
福岡市児童相談所 弁護士：久保 健二氏
熊本地方検察庁 検事正：安東 美和子氏
当法人：理事長 山田 不二子
- ・司会 理事：高橋 温
- ・従事者人員 12～15名
- ・対象者 児童福祉・母子保健・医療・教育・司法・警察の各関係者 約197人
- ・参加者 157人(参加者実数2日間；167人、参加費納入者数；171人)
- ・支出総額 2,143,417円

イ パネル・ディスカッション

- ・内 容 第18回子ども虐待防止シンポジウム パネル・ディスカッション
午前の部：「子ども虐待事例の家事裁判：～児童福祉法第28条申立て、『親権停止審判』申立て、『親権喪失審判』申立て～」
午後の部：「子どもの虐待事件の刑事訴訟とその異議」
- ・日 時 平成28年1月17日（日）
- ・場 所 横浜市社会福祉センター 4階 ホール（横浜市中区桜木町1-1）
- ・パネリスト 米国オレゴン州 マルトノマー郡 地方検事：John Casalino 氏
社会医療法人愛仁会高槻病院 副院長：山崎 麻美氏
福岡市児童相談所長：藤林 武史氏
福岡市児童相談所 弁護士：久保 健二氏
熊本地方検察庁 検事正：安東 美和子氏
当法人：理事長 山田 不二子
- ・座 長 国保旭中央病院 小児科部長：仙田 昌義 氏
- ・従事者人員 12～15名
- ・対 象 者 児童福祉・母子保健・医療・教育・司法・警察の各関係者 約197人
- ・参 加 者 141人
- ・事業収益 特定非営利活動法人かながわ子ども虐待ネグレクト専門協会との協働による
第18回子ども虐待防止シンポジウム事業体「平成27年度子ども虐待防止
シンポジウム事業 特別会計」で処理した。
- ・支出総額 0円（学術集会で一括計上）

ウ 乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)予防教育事業

- ・内 容 神奈川県と伊勢原市が米国のプログラムを元に共同開発した乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)予防教育プログラムや各医療機関が独自に開発した SBS 予防教育プログラム等を全国の事業協力病院が実施するのを支援し、SBS 予防教育実施医療機関のさらなる増加を図った。
- ・日 時 通年
- ・場 所 伊勢原協同病院、東海大学医学部附属病院、医療法人恵生会 恵生会病院、愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院、徳島大学医学部附属病院、やはたウィメンズクリニック、おおたレディースクリニック、医療法人下田産婦人科医院、神奈川県立足柄上病院の支援を継続したほか、ひまわりレディース&マタニティクリニック、小清水産婦人科クリニック、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院の新規参画を支援した。
- ・従業者人員 4～6人
- ・対 象 者 指導者研修：各病院産科病棟・新生児室の看護師・助産師
プログラム受講者：各病院で出生した新生児の両親・親族、母親父親学級受講者
電話追跡調査：プログラム受講者のうちの約2割
- ・支出総額 0円

エ ニューズレターの発行

- ・内 容 平成27年度はニューズレターを発行しなかった。
- ・日 時 年0回
- ・場 所 この法人の事務所
- ・従事者人員 6～10人
- ・対 象 者 この法人の会員等、約300人
- ・支 出 総 額 0円（管理費に計上）

オ インターネット・ホームページの開設

- ・内 容 インターネット・ホームページを平成14年4月に開設し、今年度も継続した。
- ・日 時 通年
- ・場 所 この法人の事務所
- ・従事者人員 1人
- ・支 出 総 額 251,545円

カ 一般社団法人日本子ども虐待防止学会第21回学術集会・にいがた大会 パネル展示

- ・内 容 一般社団法人日本子ども虐待防止学会(JaSPCAN)第21回学術集会・にいがた大会に参加し、啓発活動の一環として当法人活動を紹介するパネルを展示した。
- ・日 時 平成27年11月20日(金)～21日(土)
- ・場 所 朱鷺メッセ
- ・従業者人員 3～5人
- ・対 象 者 JaSPCAN 第21回学術集会・にいがた大会の参加者
- ・支 出 総 額 4,860円

(2) 収益事業

①電話相談事業

ア 虐待相談かながわ

- ・内 容 電話相談員養成講座を受講した電話相談員が虐待・ネグレクトをする保護者等からの電話相談を通して、事例のモニタリングとカウンセリングを行い、虐待・ネグレクトの専門家からの相談にも対応して、助言・協力を行った。さらに今年度も昨年度に引き続き、児童虐待防止推進月間である11月に、全国の民間団体と協力して、全国一斉「子育て・虐待防止ホットライン」を実施した。
- ・日 時 通年、週2回（原則として月・水曜日）午前10時～午後4時
11月の週末に今年度の全国一斉「子育て・虐待防止ホットライン」を実施した。
- ・場 所 この法人の事務所内 電話相談室
- ・従事者人員 各回2人

- ・対 象 者 虐待・ネグレクトをする保護者、虐待・ネグレクトに関わる専門家等
各回0～4人、相談受理件数延べ83件
- ・支 出 総 額 551,218円

②研究・研修事業

ア 「虐待相談かながわ」 ケース・カンファレンス

- ・内 容 この法人の電話相談員の資質と専門性の向上のための事例検討会の開設
- ・日 時 月1回 原則として第一月曜日 午後3時～6時、
臨時として第三水曜日 午後6時～9時
平成27年4月15日(水)、5月18日(月)、6月1日(月)、7月6日(月)、
8月3日(月)、9月28日(月)、10月5日(月)、10月21日(水)、11
月2日(月)、12月7日(月)、12月16日(水)、平成28年1月18日
(月)、2月1日(月)、3月7日(月)
計14回
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・講 師 理事長 山田 不二子 (スーパーバイザー)
- ・従業者人員 2～3人
- ・対 象 者 この法人の電話相談員3～8人
- ・支 出 総 額 0円

イ ChildFirst Japan 出前型 RIFCR™ 研修

- ・内 容 通告義務者向けの聞き取り研修を招聘元に出向して実施した。
- ・日 時 平成27年4月11日(土)、12日(日)：石川県
 - ・招 聘 元：石川県医師会
 - ・場 所：石川県女性センター
 - ・参 加 者：4月11日(土)；38名、12日(日)；40名
- ・日 時 平成27年5月15日(金)：青森県
 - ・招 聘 元：青森県庁こどもみらい課
 - ・場 所：青森県民福祉プラザ
 - ・参 加 者：39名
- ・日 時 平成27年6月20日(土)、21日(日)：北海道
 - ・招 聘 元：北海道医師会
 - ・場 所：函館中央病院
 - ・参 加 者：6月20日(土)；34名、21日(日)；37名
- ・日 時 平成27年8月28日(金)：京都府
 - ・招 聘 元：京都府家庭支援総合センター
 - ・場 所：京都府家庭支援総合センター
 - ・参 加 者：40名
- ・日 時 平成28年2月21日(日)：神奈川県
 - ・招 聘 元：伊勢原市
 - ・場 所：伊勢原市青少年センター

- ・参加者：40名
- ・講師 ChildFirst Japan RIFCR ファカルティー 各回3～4人
- ・対象者 小・中・高校の養護教諭や幼稚園教諭・保育士など、子どもの性虐待を発見しやすい職種に従事する者、各回定員40人
- ・従業者人員 6～7人（このうち、4人はRIFCR ファカルティー）
- ・支出総額 985,851円

ウ ChildFirst Japan 出前型 ChildFirst™ 司法面接研修

- ・内容 自治体等の団体・組織からの招聘に基づき、GNCPTC（Gundersen National Child Protection Training Center）が開発した ChildFirst™ 司法面接プロトコルを多機関連携チーム（MDT：Multidisciplinary Team）で構成された受講者に研修し、MDTの枠組みで司法面接を実施する体制を各地に構築した。
- ・日時 横浜市第4回研修：平成27年10月22日（木）～26日（月）
- ・場所 横浜市第4回研修：横浜中央児童相談所
- ・講師 ChildFirst Japan 司法面接研修ファカルティー（子どもの司法面接 NCPTC 認定トレーナー）7人
- ・対象者 各県・政令市で活動する児童相談所職員、警察官、検察官、家庭裁判所調査官、弁護士、医師・看護師等医療職などの多職種専門家、各回定員20人
- ・従業者人員 8～10人（このうち、7人は ChildFirst Japan 司法面接研修ファカルティー）
- ・支出総額 803,808円

③専門家派遣事業

ア 講演会・講義等に対する講師派遣

- ・内容 この法人に対して、他団体から講演会・講義等の講師の招聘があったときに、当法人の役員や正会員を派遣した。
- ・日時 平成27年5月11日、14日、21日、29日、6月2日、8日、18日：日本看護協会 看護研修学校（講義）
平成27年6月25日：海老名市子育て支援課（『児童虐待対策』講師）
平成27年6月28日：横浜中央児童相談所（出前型診察技術研修）
平成27年6月29日：横浜市北部児童相談所（司法面接研修及びフォローアップ研修）
平成27年8月17日：ノートルモンド社（インタビュー）
平成27年9月27日：川崎市男女共同参画センター（男性のための電話相談 相談員養成研修）
平成27年10月8日：秦野精華園（園内研修会）
平成27年6月7日：四国こどもとおとなの医療センター（SBS 予防プログラム研修会）
平成27年10月28日：警視庁組織犯罪対策第2課（鑑定料）
平成27年11月12日：函南町役場子育て支援課（児童虐待防止講習会）
平成27年11月27日：海老名市子育て支援課（児童虐待防止月間講演会）
平成27年11月30日：藤田保健衛生大学（『子ども虐待ネグレクト』勉

強会)

平成27年11月17日、25日：神奈川県県民局次世代育成部（SBS 予防プログラム医療機関出張講座）

平成27年12月1日、9日：神奈川県県民局次世代育成部（SBS 予防プログラム医療機関出張講座）

平成27年12月3日：平塚保健福祉事務所（児童虐待防止研修会）

平成27年12月14日：相模原市健康企画課（乳幼児揺さぶられ症候群予防について研修会）

平成27年12月15日：神奈川県小児保険協会（地域母子保健指導者研修会）

平成28年1月19日：茨城県保健福祉部子ども家庭課（児童虐待防止に関する児童福祉・母子保健・教育の合同研修会）

平成28年1月9日、25日：神奈川県県民局次世代育成部（SBS 予防プログラム医療機関出張講座）

平成28年2月2日：社会福祉法人雲柱社（子ども家庭相談研修）

平成28年2月15日：神奈川県県民局次世代育成部（SBS 予防教育フォローアップ研修）

平成28年2月8日：横浜市中心児童相談所（司法面接研修及びフォローアップ研修）

平成28年2月25日：枚方市子ども青少年部（児童虐待問題研修会）

平成28年3月11日：枚方市子ども青少年部（児童虐待に係る研修会）

- ・場 所 招聘地
- ・講 師 この法人の役員または正会員
- ・従業者人員 1～3人
- ・対 象 者 招聘元が招集した参加者
- ・支出総額 128,052円

イ 司法面接者・診察医派遣

- ・内 容 この法人に対して、児童相談所・警察・検察等から司法面接者・虐待被害児診察医の派遣要請があったときに、当法人の ChildFirst Japan ファカルティを派遣する事業だが、今年度は派遣要請がなかった。
- ・日 時 0回
- ・場 所 なし
- ・派 遣 者 この法人の ChildFirst Japan ファカルティ
- ・従業者人員 0人
- ・対 象 者 招聘元が関わっている虐待被害児や犯罪を目撃した児童
- ・支出総額 0円

④アナトミカル・ドール販売事業

- ・内 容 国際的に定評のある Teach-a-Bodies 社製アナトミカル・ドールの仲介販売を行った。

- ・日 時 平成28年2月
- ・場 所 当法人の事務所
- ・従業者人員 2～4人
- ・対 象 者 地方公共団体等
- ・支 出 総 額 206,788円

(3) その他の事業

①チャリティー事業

ア チャリティー・パーティー

- ・内 容 この法人の正会員・賛助会員の親睦および特定非営利活動に係る事業の不足分資金の調達のために会費制の会食会を行う事業だが、平成27年度はチャリティー・パーティーを行わなかった。
- ・日 時 0回
- ・場 所 なし
- ・従業者人員 0人
- ・対 象 者 この法人の会員
- ・支 出 総 額 0円